

2021 年度

事 業 報 告 書

一般社団法人 日本産業機械工業会

目 次

I	概括	1
II	部会関係	2
	1. ボイラ・原動機部会	2
	2. 鉦山機械部会	3
	3. 化学機械部会	4
	4. 環境装置部会	4
	5. タンク部会	15
	6. プラスチック機械部会	16
	7. 風水力機械部会	17
	8. 運搬機械部会	19
	9. 動力伝導装置部会	21
	10. 製鉄機械部会	21
	11. 業務用洗濯機部会	22
	12. エンジニアリング部会	23
III	委員会関係	24
	1. 政策委員会	24
	2. 労務委員会	25
	3. 貿易委員会	26
	4. 編集広報委員会	28
	5. 産業機械工業規格等調査委員会	28
	6. 産業機械工業功績者表彰選考委員会	29
	7. 環境委員会	29
	8. エコスラグ利用普及委員会	31
IV	関西支部関係	32
V	共通基盤事業関係	35
VI	共通基盤活動関係	39

I 概括

2021年度の日本経済は、長引く新型コロナウイルス感染拡大の状況に左右されながらも、海外経済の回復に伴い輸出や生産が増加するなど、持ち直しに向けた動きが見られ始めた。しかしながら、原材料価格の高騰や供給面の制約などが景気回復の重しとなったほか、ウクライナ危機及びそれに伴い発動された対露経済政策が先行きへの懸念を高めた。

そのような状況のもと、一般社団法人日本産業機械工業会（以下、当工業会という）の2021年度の受注は、内需が増加したものの外需の減少により、前年度比マイナス1.6%の4兆9,494億円となった。内需については、素材産業から組立産業まで幅広い業種の需要が回復した他、運輸業や卸売・小売業等の物流設備の自動化・省力化投資が堅調に推移し、2年ぶりに前年度実績を上回った。外需については、堅調な中国に加えて、中国以外のアジアや欧米もプラスに転じたものの、前年度に中東で天然ガスの大型プロジェクトを受注した反動減により、2年ぶりに前年度実績を下回った。

こうした中、当工業会では、コロナ禍における景気回復や、エネルギー・環境分野等の社会課題解決、産業機械産業の更なる成長を実現すべく、各部会・委員会活動を通じて、各種事業に取り組んだ。

国際交流・技術協力に関する事業では、海外貿易会議の関連情報の収集等の開催準備、海外の産業機械の需要動向及び投資状況等について調査を行った。

標準化に関しては、日本産業規格（JIS）、国際標準化機構（ISO）、当工業会規格（JIMS）等の規格の制定・改正等に取り組んだ。

安全対策と産業事故等の防止については、災害時のボイラ復旧対策、大規模自然災害による射出成形機の被災／復旧事例に係るパンフレット「自然災害に強い成形工場」、「空調用送風機トラブルの原因と対策」改訂、汎用圧縮機の不適切な使用への注意喚起資料等の作成を行った。

カーボンニュートラル・循環経済等、地球環境問題への取り組みについては、環境活動基本計画による地球温暖化対策等の推進を図った他、エコスラグの利用普及、優秀環境装置の表彰、CO₂回収及び利活用分野への取り組み方の検討、射出成形機のエネルギー消費量の測定方法の検討、リネンサプライ工場のCO₂削減に向けた処理能力別最適モデルの検討等を行った。

調査研究については、新環境ビジネスの創出に関する調査研究（今後成長が期待される分野、新たな水環境ビジネス、バイオマス発電、先端技術、IoT・AI活用）、「ステンレス製タンクの技術基準のガイドライン」作成、「風水力機械産業の現状と将来展望」発行、中国のモーター効率規制に関する調査等を行った。

その他、コロナ禍に端を発したサプライチェーン混乱による産業機械の納期遅延に関する情報収集・提供や、適正取引の推進に向けた行動計画の推進、中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に関する税制措置への対応等を行った。

これら事業等の実施にあたっては、関係省庁及び関連団体並びに多数の有識者から様々な形で協力を賜った。

ここに会員共々関係各位に厚く感謝の意を表するものである。

Ⅱ 部会関係

1. ボイラ・原動機部会

(1) 統計調査の実施

ボイラの機種別、容量別の受注台数の統計調査を行い、産業動向の調査を行った。

(2) エネルギー、環境関連の情報収集及び普及活動の推進

ア. CO₂削減対策の調査として、微細藻類バイオ燃料と光触媒による人工光合成から得られる水素の生成技術及び部会各社の取り組みについて調査を行い、取りまとめた。

イ. 2022年1月21日に次の通り勉強会を開催した。

テーマ：2050年のカーボンニュートラル実現に向けた都市ガス業界の取り組みについて

講師：中島 良文 殿 一般社団法人日本ガス協会 普及推進グループ
兼 エネルギーシステム企画グループ 課長

ウ. 経済産業省より受託した一般社団法人低炭素投資促進機構が行う低炭素設備リース保険、また環境省より受託した一般社団法人環境金融支援機構が行うESGリース促進事業への適合製品の登録申請を行った。

(3) 災害の発生前後における故障の予防や復旧の円滑化などを目的として、点検や対策の一般的な確認事項について「災害時のボイラ復旧対策」としてまとめた。

(4) 施設調査の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送った。

(5) 講演会の実施

2022年3月11日にタンク部会と合同で次の通り開催した。

テーマ：我が国の燃料アンモニア導入・拡大に向けた最新の政策動向について

講師：吉田 哲士 殿 経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部
政策課 係長

(6) 女性職員間の交流促進のあり方の検討

ア. 施設調査

2021年10月26日に東京ガス株式会社千住テクノステーションを訪問し、各種実験装置及びボイラを見学した。また、カーボンニュートラルに向けての取り組みについて説明を受けた。

イ. 機関誌「産業機械」12月号特別企画として「ワークライフバランスを考える」をテーマに座談会を開催した。

ウ. ボイラ基礎知識に関する情報交換を行った。

(7) 関係行政機関及び関連団体等への協力

国際標準化機構規格に関し、関係行政機関及び関連団体等の専門委員会等に委員を派遣し、関連業界の意見のとりまとめ等に協力した。

ア. ISO/TC161 (ガス及び/又は油用制御器及び防護装置) 国内対策委員会及びWG

イ. ISO/TC109 (オイル及びガスバーナー) 国内対策委員会

2. 鉦山機械部会

(1) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(2) 機械安全の推進

ア. ボーリングマシンに関する「安全マニュアル」の改訂版を引き続き作成した。

イ. 「ボーリングポンプ・グラウトポンプ」、「マッドミキサ・グラウトミキサ」に関する「安全マニュアル」の見直しを引き続き検討した。

(3) 関連情報収集等調査の実施

国内外の市場動向等について情報収集等を行った。

(4) 講演会及び研修会等の実施

ア. 講演会 2022年3月16日

テーマ:「進化計算アルゴリズム応用～工学設計から自動作曲まで～」

講師:大谷 紀子 殿 東京都市大学 メディア情報学部

情報システム学科 教授

イ. 研修会

a. 2021年10月28日

福岡県飯塚市「株式会社嘉穂製作所」を訪問し、斜面走行スロープカー等の製造工程を視察した。

b. 2021年11月4日

山口県宇部市「石炭記念館」を訪問し、石炭採掘の歴史・機械について視察した。

(5) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省及び一般財団法人日本規格協会等との交流を行った。

3. 化学機械部会

(1) 調査研究の実施

ア. 2016年に一部改正された圧力容器構造規格の内容、中国向けの圧力容器製造事業所の MANUFACTURE LICENSE（中華人民共和国特殊製造許可）の取得方法などについて調査を行った。

イ. 若手社員育成のために基礎講座を2022年2月25日に次の通り開催した。

テーマ：スパイラル式熱交換器とは

講師：黒瀬 雅之 殿 株式会社クロセ 東京営業部 部長代理

テーマ：最新ヒートポンプ式蒸留装置

講師：仲田 大輔 殿 木村化工機株式会社 エンジニアリング事業部
営業部 東京営業課 主事

(2) 講演会の実施

2022年1月24日に次の通り開催した。

テーマ：米国及びEUにおける製造物責任

講師：園田観希央 殿 森・濱田松本法律事務所 弁護士

片桐 大 殿 森・濱田松本法律事務所 弁護士

(3) 施設調査の実施

宇部興産機械株式会社 本社工場の施設調査を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

4. 環境装置部会

(1) 役員改選

2021年4月21日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：小木 均 日立造船株式会社 専務執行役員 環境事業本部長（再任）

副部会長：能勢 洋也 荏原環境プラント株式会社

取締役 運営事業本部長（再任）

副部会長：品部 和宏 株式会社クボタ 常務執行役員 環境事業部長（再任）

副部会長：薄木 徹也 JFE エンジニアリング株式会社 常務執行役員（新任）

副部会長：竹口 英樹 株式会社タクマ 取締役 専務執行役員

エンジニアリング統轄本部長 兼 管理センター長（再任）

(2) 統計調査の実施と分析

環境装置産業の装置別生産・輸出実績に関する調査を実施し、国内外の関係先に広く配布し参考に供した。

(3) 標準化の推進

当工業会が原案作成団体となっている環境関連 JIS について、改定の必要性及び緊急性について意見を聴取した。

(4) 環境関連技術等に関する調査研究の実施

ア. 環境装置産業の事業展開に関する調査研究

環境装置産業としてのビジネスチャンス拡大に向け、地域の自立・自律や活性化を指向した取組について環境装置産業の今後の在り方を取りまとめるため、地方自治体等における取組動向及び課題把握に関する調査方法について検討を行った。

イ. 新環境ビジネスの創出に関する調査研究

新たな環境ビジネスに関する考察及び講演会等を行った。

a. 今後成長が期待される分野に関する調査研究

再生可能エネルギー導入促進に資する送電・蓄電技術、SDGsやサーキュラーエコノミー、カーボンプライシングのビジネスに与える影響等について情報収集を行った。

b. 新たな水環境ビジネスに関する調査研究

2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けた下水道政策及び技術動向、下水道分野における資源・エネルギー回収の動向、下水処理におけるマイクロプラスチックの状況及び下水中の新型コロナウイルス検出・変異解析技術の研究に関する情報収集を行った。

c. バイオマス発電に関する調査研究

エネルギー基本計画、再生可能エネルギーの固定価格買取制度及びカーボンプライシングに関する政策動向、バイオマス燃料の利活用に関する情報収集を行った。

d. 先端技術に関する調査研究

2030年頃の社会実装や2050年以降の実用化を目途とした、将来の環境ビジネスに資するであろう最先端の研究開発技術の調査及びその背景である国内外の動向について幅広く情報収集を行った。

e. IoT・AIの活用に関する調査研究

製造業、エンジニアリング企業、地域におけるエネルギー運用及びまち作りへのIoT・AI導入事例や、それらに用いられる技術、活用するための組織のあり方について情報収集を行った。

f. セミナー、講演会、施設調査等の実施

① 新たな環境ビジネス創出に関する講演会

2021年4月14日

テーマ：2050年カーボンニュートラル達成に向けた排水処理における
バイオエコシステム技術の可能性

講師：徐 開欽 殿 国立研究開発法人国立環境研究所

資源循環・廃棄物研究センター 主席研究員

2021年4月27日

テーマ：再エネ大量導入を経済的に実現する蓄熱発電と
国内外の技術開発動向プラス回転発熱機のご紹介

講師：岡崎 徹 殿 一般財団法人エネルギー総合工学研究所
プロジェクト試験研究部 主管研究員

2021年5月13日

テーマ：バイオマス発電政策等について

講師：神沢 吉洋 殿 経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー課 課長補佐

2021年5月26日

テーマ：AIによる化学プラント運転変更ガイダンス

講師：窪澤 駿平 殿 国立研究開発法人産業技術総合研究所
人工知能研究センター
NEC-産総研人工知能連携研究室
特定集中研究専門員
/日本電気株式会社 データサイエンス研究所
特別研究員

テーマ：総務省におけるローカル 5G 等の推進

講師：竹原 正之 殿 総務省 情報流通行政局
地域通信振興課 係長

2021年6月3日

テーマ：細胞農業の実現による
食料生産（資源循環）の効率化・コンパクト化
～新規事業・市場調査・研究開発・生産設備・農業事業者等
ご担当者様を対象として～

講師：五十嵐圭介 殿 特定非営利活動法人日本細胞農業協会
代表理事

2021年6月16日

テーマ：木質バイオマス燃料の安定的・効率的な供給と
利用システムの構築に向けた課題と展望

講師：久保山裕史 殿 国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所 林業経営・政策研究領域
領域長

2021年6月22日

テーマ：発電事業の運営とプロジェクトファイナンス

講師：越元 瑞樹 殿 TMI 総合法律事務所 弁護士

2021年6月24日

テーマ：バイオマス利活用の推進と今後の展望

ー2050年カーボンニュートラルに向けた取組及び令和3年度事業ー

講師：清水浩太郎 殿 農林水産省 食料産業局
バイオマス循環資源課長

2021年6月25日

テーマ：下水処理におけるマイクロプラスチックの状況
講師：田中 周平 殿 京都大学大学院 地球環境学堂
地球親和技術学廊 准教授

2021年6月29日

テーマ：SDGsを活用したビジネスデザイン
講師：熊久保和宏 殿 みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
グローバルイノベーション&エネルギー部
グローバルイノベーションチーム
上席主任コンサルタント
山本麻紗子 殿 同 主任コンサルタント

2021年6月30日

テーマ：我が国の森林・林業の現状と森林組合系統
講師：荒川 考旦 殿 全国森林組合連合会 系統事業部
販売課 担当課長

2021年7月1日

テーマ：下水道分野における技術開発「B-DASHプロジェクト」
10年間の取組～ダウンサイジング技術の紹介～
講師：岩渕 光生 殿 国土交通省 国土技術政策総合研究所
下水道研究部 下水処理研究室 主任研究官

2021年7月2日

テーマ：カーボンプライシングの動向とビジネスへの影響
講師：元木 悠子 殿 みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
環境エネルギー第1部 地球環境チーム 課長

2021年7月7日

テーマ：欧州サーキュラーエコノミー政策から探る、日本の可能性
講師：安居 昭博 殿 Circular Initiatives & Partners 代表
世界経済フォーラム Future Global Council
日本代表

2021年7月28日

テーマ：世界の魚食文化をずっと、もっと豊かに
講師：十河 哲朗 殿 株式会社FRD ジャパン 取締役 COO

2021年8月25日

テーマ：分散型エネルギーリソースの運用支援に向けた
三菱総合研究所の取組
講師：三浦 大助 殿 株式会社三菱総合研究所

イノベーション・サービス開発本部
電力新事業グループ
兼 経営イノベーション本部
電力・エネルギーグループ

2021年8月26日

テーマ：デジタル化に伴うサプライチェーンの再構成に関する動向
講師：杉山 成正 殿 株式会社NTTデータグローバルソリューションズ
ビジネストランスフォーメーション室
SCM チームリーダー

2021年9月1日

テーマ：2050年カーボンニュートラル実現に向けた展望と課題
講師：秋元 圭吾 殿 公益財団法人地球環境産業技術研究機構
システム研究グループ
グループリーダー・主席研究員

テーマ：全固体電池の開発動向と今後の可能性
講師：菅野 了次 殿 東京工業大学 科学技術創成研究院
全固体電池研究センター長 特命教授

2021年9月2日

テーマ：人工光合成（光触媒）による水素生成技術の現状と将来展望
講師：堂免 一成 殿 東京大学 特別教授室 特別教授
/信州大学 先鋭材料研究所 特別特任教授

2021年9月8日

テーマ：空飛ぶクルマの産業振興に向けた取組
講師：伊藤 貴紀 殿 経済産業省 製造産業局 産業機械課
次世代空モビリティ政策室 室長補佐
テーマ：データ活用の常識を変える データドリブン DX
日本発の先進 AI 技術 dotData のご紹介
講師：森 英人 殿 合同会社 dotData Japan 代表執行役社長
村松 孝浩 殿 日本電気株式会社
グローバルイノベーションユニット
/データドリブン DX 事業部
上席インダストリーコンサルタント

2021年9月10日

テーマ：バイオマス炭化ガス化発電技術と炭化燃料の評価技術について
講師：大高 円 殿 一般財団法人電力中央研究所
エネルギートランスフォーメーション研究本部
エネルギー化学研究部門 上席研究員

2021年9月22日

テーマ：バイオ 3D プリンターの現状と今後

講師：野々山裕介 殿 株式会社リコー 川崎 LIC RFS
バイオメディカル事業センター
バイオメディカル研究開発室
応用研究グループ

2021年9月28日

テーマ：水ビジネスの海外展開の現状と経済産業省の取組について
講師：高崎早和香 殿 経済産業省 製造産業局
国際プラント・インフラシステム・水ビジネス
推進室 企画調整官

2021年10月20日

テーマ：「下水道施設の耐水化計画および対策立案に関する手引き」について
講師：吉野 文雄 殿 公益財団法人日本下水道新技術機構
研究第二部 副部長

テーマ：カーボンニュートラルに向けた超電導技術の開発動向
講師：向山 晋一 殿 古河電気工業株式会社 研究開発本部
インキュベーター統括部 超電導製品部
主幹研究員

2021年11月4日

テーマ：カーボンニュートラルに向けたメタネーション技術の動向と
産業技術総合研究所における取り組み
講師：高木 英行 殿 国立研究開発法人産業技術総合研究所
ゼロエミッション国際共同研究センター
水素製造・貯蔵基盤研究チーム長

2021年11月9日

テーマ：世界水ビジネスの動向と勝てる日本の戦略
講師：吉村 和就 殿 グローバルウォータ・ジャパン 代表
テーマ：工場設備向け不具合予兆検知（高周波振動データ解析）ご紹介
講師：井上 寛 殿 日本ユニシス株式会社 戦略事業推進第一本部
DX サービス推進部 チーフ・スペシャリスト

2021年11月11日

テーマ：環境省における紙おむつリサイクルの取組について
講師：石井 颯杜 殿 環境省 環境再生・資源循環局 総務課
リサイクル推進室

2021年11月24日

テーマ：木質バイオマス発電燃焼灰の有効利用について～現状と課題～
講師：田島 孝敏 殿 株式会社大林組 技術研究所
自然環境技術研究部
テーマ：日本版シュタットベルケの展開と可能性
地域資源循環事業の成功と失敗

講 師：稲葉 陸太 殿 国立研究開発法人国立環境研究所
資源循環領域 資源循環社会システム研究室
主任研究員

2021年11月30日

テーマ：制御システムにおける
IoT技術活用のセキュリティ脅威とその対策

講 師：辻 宏郷 殿 独立行政法人情報処理推進機構
セキュリティセンター

2021年12月1日

テーマ：経済産業省におけるMaaSの取組について

講 師：福永 茂和 殿 経済産業省 製造産業局 自動車課
ITS・自動走行推進室長

2021年12月8日

テーマ：ガラス繊維強化プラスチックのリサイクル技術動向について

講 師：柴田 勝司 殿 溶解技術株式会社 代表取締役

2021年12月9日

テーマ：2050年カーボンニュートラルに向けた
日本のエネルギー・電源構成のあり方

講 師：橘川 武郎 殿 国際大学 副学長
大学院 国際経営学研究所 教授

2021年12月10日

テーマ：製造業へのマイクロソフトの取り組み
ー今と、これから、できることー

講 師：村林 智 殿 日本マイクロソフト株式会社
IoT Solutions Asia 担当部長 Sr. Specialist

2021年12月17日

テーマ：光学衛星画像の活用について

講 師：中西 佑介 殿 株式会社アクセルスペース
取締役 CPO(最高プロダクト責任者)
AxelGlobe 事業管掌

2021年12月23日

テーマ：高濃度消化・省エネ型バイオガス精製による
効率的エネルギー利活用技術

講 師：宮本 博司 殿 株式会社神鋼環境ソリューション
水環境技術本部 アセットマネジメント部
担当部長

2022年1月7日

テーマ：実物大「動くガンダム」プロジェクト

講 師：石井 啓範 殿 GUNDAM GLOBAL CHALLENGE

テクニカルディレクター

2022年1月18日

テーマ：ENEOSの水素社会実現への取組

講師：宮元 英一 殿 ENEOS株式会社 水素事業推進部 副部長

2022年1月21日

テーマ：地域課題の解決から未来都市を考える

～未来技術社会実装事業の取組～

講師：中野 穰治 殿 内閣府 地方創生推進事務局 参事官

2022年1月27日

テーマ：経済産業省における今後のバイオ産業政策の方向性について

～バイオテクノロジーが拓く『第五次産業革命』～

講師：保田 友晶 殿 経済産業省 商務情報政策局

商務・サービスグループ

生物化学産業課 課長補佐

2022年2月4日

テーマ：データやAI活用を取り巻く現状と企業活動への影響：

アンケート調査を活用した実証分析

講師：鷺尾 哲 殿 株式会社情報通信総合研究所

ICTリサーチ・コンサルティング部 主任研究員

2022年2月9日

テーマ：脱炭素社会への貢献に向けた下水道における取組

講師：藤岡 勝之 殿 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部

下水道企画課 資源利用係長

2022年2月17日

テーマ：下水中の新型コロナウイルスの検出・変異解析技術の現状と

将来展望

講師：北島 正章 殿 北海道大学 大学院工学研究院

環境工学部門 准教授

2022年3月2日

テーマ：カーボンプライシングの動向とこれからの展望

講師：有村 俊秀 殿 早稲田大学 政治経済学術院 教授

2022年3月8日

テーマ：時限生分解性プラスチックの研究開発状況と今後の展望

講師：粕谷 健一 殿 群馬大学大学院 理工学府 分子科学部門

環境調和型材料科学研究室 教授

2022年3月23日

テーマ：神戸市におけるスマートシティの取り組みについて

市民・企業・行政が共に考え、共に創るまち

講師：安保 武志 殿 神戸市 企画調整局 つなぐラボ 担当課長

② 新たな環境ビジネス創出に関する施設調査

2021年12月13日

成瀬クリーンセンター

〔単槽型硝化脱窒プロセスのICT・AI制御による高度処理技術実証事業
(B-DASH事業)〕

2021年12月16日

国立研究開発法人産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究所
(再生可能エネルギーに関する研究開発動向)

ウ. 循環ビジネスに関する情報収集

サーキュラーエコノミー及び廃プラスチック資源循環、鉄スクラップの利活用並びにリチウムイオン電池のリサイクルに関する政策動向や取り組みについて情報収集を行った。

2021年6月9日

テーマ：金属スクラップの市場動向

講師：三上 慎史 殿 株式会社日刊市況通信社 代表取締役社長

2021年7月7日

テーマ：ヴェオリアグループのプラスチックリサイクル事業への
取り組みと今後の展望

講師：本田 大作 殿 ヴェオリア・ジャパン株式会社 上級副社長

2021年9月24日

テーマ：廃棄プラスチックからの水素エネルギー再生とその実用展開2021

講師：栗山 常吉 殿 昭和電工株式会社 川崎事業所
企画統括部 兼 KPR推進室長

テーマ：サーキュラーエコノミー政策の動向

講師：喜多川和典 殿 公益財団法人日本生産性本部
コンサルティング部
エコ・マネジメントセンター長

2021年10月11日

テーマ：セメント製造プロセスを利用した
リチウムイオン電池リサイクルの取り組み

講師：上杉 諒平 殿 太平洋セメント株式会社
環境事業部 営業企画グループ

三上 裕 殿 松田産業株式会社 技術開発部 技術開発課

2021年10月21日

テーマ：欧州バッテリー指令の規則化への動きについて

講師：白鳥 寿一 殿 東北大学大学院 環境科学研究科
先進社会環境学専攻 教授

特定非営利活動法人RtoS研究会 理事長

2021年12月14日

テーマ：2050年カーボンニュートラルに向けたJFEの取り組み
講師：手塚 宏之 殿 JFEスチール株式会社 専門主監
兼 技術企画部 地球環境グループリーダー

テーマ：鉄スクラップ需給の現状と今後の展望
講師：林 誠一 殿 株式会社鉄リサイクリング・リサーチ
代表取締役

2022年2月3日

テーマ：カーボンニュートラル実現に向けた取り組み
住友化学の責務と貢献

講師：辻 純平 殿 住友化学株式会社 理事
カーボンニュートラル戦略審議会 事務局長
技術・研究企画部長

テーマ：「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」について

講師：村井辰太郎 殿 環境省 環境再生・資源循環局 総務課
リサイクル推進室 室長補佐

2022年2月15日

テーマ：プラスチックの資源循環の現状

講師：柳屋 央 殿 株式会社パンテック
国内マーケティンググループ

テーマ：流動床技術を活用した
使用済みプラスチックのケミカルリサイクル

講師：井原 貴行 殿 荏原環境プラント株式会社 共通基盤本部
開発部 新技術開発課 課長

2022年3月4日

テーマ：我が国における資源循環政策について

講師：吉川 康弘 殿 経済産業省 産業技術環境局
資源循環経済課 課長補佐

2022年3月10日

テーマ：TBMが目指す資源循環モデル

講師：杉山 琢哉 殿 株式会社TBM 経営企画本部
(サーキュラー・エコノミー推進統括)
マネージャー

テーマ：双日におけるサーキュラーエコノミーの実現に向けた取り組み

講師：和田 育也 殿 双日株式会社 金属・資源・リサイクル本部
資源リサイクル部 金属リサイクル課 主任
宇野 隼平 殿 同 資源循環事業課

2022年3月18日

テーマ：日産のカーボンニュートラルに向けたチャレンジ
バッテリーエコサイクルへの取り組み

講師：久保 賢明 殿 日産自動車株式会社
パワートレイン・EV技術開発本部
パワートレイン・EV先進技術開発部
戦略統括グループ 部長

エ. 二酸化炭素の回収及び利活用分野への取り組み方の検討

二酸化炭素の回収及び利活用分野への取り組みにあたり、事業の位置づけ、目的・目標を設定するための検討を行った。また、関連施策等に関する講演会を行った。

2021年5月25日

テーマ：地域の脱炭素化の実現に向けた取組について

講師：嶋田 章 殿 環境省 大臣官房 環境計画課
地域循環共生圏推進室 室長補佐

2021年7月13日

テーマ：カーボンリサイクル政策について

講師：市川 博規 殿 経済産業省 資源エネルギー庁 長官官房
カーボンリサイクル室

(5) 環境技術情報の発信

会員企業の環境技術や装置・機器に関する情報を系統的に取りまとめ、ウェブサイト上で広く提供した。

(6) シンポジウム、講演会及び施設調査等の実施

ア. 環境関連施策及び環境産業の動向に関する講演会

a. 2021年4月21日

テーマ：カーボンニュートラルを巡る動向

講師：松本 崇 殿 経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐

b. 2022年2月24日

テーマ：化石燃料の大量消費と環境問題を解決するための

水素エネルギーキャリア戦略－工業炉でのアンモニア直接燃焼利用－

講師：赤松 史光 殿 大阪大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 教授

イ. 環境関連施設調査

a. 2022年2月24日

大阪大学大学院 工学研究科

(工業炉でのアンモニア直接燃焼利用の実証事業)

(7) 関係行政機関及び関連団体への協力

ア. 経済産業省への協力

3R推進協議会企画運営委員会に委員を派遣した。

イ. 環境省への協力

環境技術実証事業運営委員会に委員を派遣した。

ウ. 優良環境装置協議会への協力

優良環境装置協議会の実施する各種事業に協力した。

エ. 関連団体への協力

一般社団法人産業環境管理協会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人日本下水道協会、日本産業洗浄協議会、一般財団法人日中経済協会等が実施した事業に協力した。

5. タンク部会

(1) 統計調査の実施

機種別の受注台数の統計調査を行い、産業動向の調査を行った。

(2) 標準化の推進

ステンレス製タンクを製造する際の基準となる「ステンレス製タンクの技術基準のガイドライン (案)」を作成した。

(3) 調査研究の実施

タンク関連の災害対応技術、関連規格及び関連法令について情報収集を行った。

(4) 施設調査の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送った。

(5) 講演会の実施

2022年3月11日にボイラ・原動機部会と合同で次の通り開催した。

テーマ：我が国の燃料アンモニア導入・拡大に向けた最新の政策動向について

講師：吉田 哲士 殿 経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部
政策課 係長

(6) 関係行政機関及び関連団体への協力

ア. 消防庁の危険物施設の長期使用に係る調査検討会に委員を派遣し、調査・検討に協力した。

イ. 消防庁の屋外貯蔵タンクの津波・水害による流出等防止に関する調査検討会に委員を派遣し、調査・検討に協力した。

ウ. 消防庁の令和2年度過疎地域等における燃料供給インフラの維持に向けた安全対策のあり方に関する検討会技術ワーキンググループに委員を派遣し、調査・検討に協力した。

エ. 公益社団法人石油学会の設備維持規格委員会(屋外タンク-2020)に委員を派遣し、調査・検討に協力した。

6. プラスチック機械部会

(1) 役員改選

2021年6月29日の部会総会において、次のとおり選任した。

- 部会長：布下 昌司 株式会社日本製鋼所
執行役員 成形機事業部長（新任）
- 副部会長：岡本 和雄 株式会社池貝
取締役会長（新任）
- 副部会長：佐藤 達夫 株式会社ニイガタマシテクノ
執行役員 成機部長（新任）

(2) 統計調査の実施と分析

- ア. 関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。
- イ. 射出成形機、押出成形機、ブロー成形機の3機種について、主要ユーザー業界及び海外主要国の市場動向を調査し、「プラスチック機械産業の市場動向調査報告書」を公表した。

(3) 標準化の推進

- ア. ISO/TC270（プラスチック加工機械及びゴム加工機械）の国内審議団体として、2021年5月26日に開催されたTC270総会への対応、及び押出成形機分科会において国際会議への対応を協議した。
- イ. JIS B 8650（プラスチック加工機械—用語）の改正について検討した。
- ウ. 射出成形機のエネルギー消費量の測定方法について検討した。

(4) 機械安全の推進

- ア. 射出成形機の周辺機器の設置に係る必須安全対策を検討した。
- イ. 射出成形機において定期点検が特に重要となる部品について点検の効果と故障事例に関する調査を行った。

(5) 関連情報収集等調査の実施

- ア. プラスチック機械に関する米国、中国、及び欧州の特許情報について調査及び検討を行った。
- イ. 射出成形機ユーザーが大規模自然災害に備えて、必要な予防策や復旧計画・手順をあらかじめ策定しておくのに参考となる実際の復旧対応事例を整理したパンフレット「自然災害に強い成形工場」を作成した。

(6) 国際交流の推進

- 欧州プラスチック機械工業会 (EUROMAP)、及び米国プラスチック産業協会 (PLASTICS) と統計の交換を実施した。

(7) 施設調査等の実施

先進的対策例等の施設調査を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(8) 関連団体等との交流

日本プラスチック機械工業会と情報交換等を行った。

7. 風水力機械部会

(1) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する生産等の統計調査を行い、産業動向の分析を行った。

(2) 標準化の推進

- ア. ISO/TC115 (ポンプ) の審議事項への回答及び改正案への投票に対応した。
- イ. ISO/TC117 (送風機) 及びISO/TC118 (圧縮機) に関する通知内容を確認・検討した。
- ウ. JIS B 8341 (容積形圧縮機—試験及び検査方法) の改正案作成作業を継続した。
- エ. JIS B 8307 (遠心ポンプの技術仕様—クラス I) の改正案作成作業を継続した。
- オ. JIS B 8313 (小形渦巻ポンプ) の改正案作成作業を継続した。
- カ. JIS B 8319 (小形多段渦巻ポンプ) の改正案作成作業を継続した。
- キ. JIS B 8322 (両吸込渦巻ポンプ) の改正案作成作業を継続した。
- ク. JIS B 8324 (深井戸用水中モーターポンプ) の改正案作成作業を継続した。
- ケ. JIS B 8325 (設備排水用水中モータポンプ) の改正案作成作業を継続した。
- コ. JIS B 8327 (模型によるポンプ性能試験方法) の改正案作成作業を継続した。
- サ. JIMS C 2004 (遠心送風機製品検査基準) を改正した。

(3) 機械安全の推進

- ア. 汎用ポンプに関して、定期的なメンテナンスの重要性を説明する資料の作成作業を行った。
- イ. 「空調用送風機 トラブルの原因と対策」を改訂し、公表した。
- ウ. 汎用圧縮機に関して、不適切な使用への注意喚起資料を作成し、公表した。
- エ. 「ロータリ・ブロワ (ルーツ式) の手引き」の改正作業を継続した。

(4) 風水力機械関連の情報提供

- ア. 冊子「風水力機械産業の現状と将来展望」を発行した。
- イ. 高効率モータ、ポンプ、送風機等に関する最新情報を提供した。
- ウ. ポンプ、送風機等に関する最新情報をメールマガジン等で提供した。
- エ. ポンプ、送風機関連のJISについて、外部からの技術的な問い合わせに対応した。
- オ. コロナ禍による製品の納期遅延について顧客に理解を求める書面を発行し、部会員

企業に配布するとともに、当工業会ウェブサイトに掲載した。

(5) 技術セミナー・講演会等の開催

次の技術セミナー等を開催した。

- ア. ポンプ技術者連盟 技術セミナー (2021年7月13日)
テーマ：エンジニアリング会社がポンプメーカーに求めること
講師：小沼 あい 殿 千代田化工建設株式会社 機械設計ユニット
回転機械セクション
テーマ：他業種の設計方法から学ぶ～自動車の設計の検図の方法と考え方～
講師：中山 聡史 殿 株式会社A&Mコンサルタント 取締役
- イ. メカニカルシール講習会 (2021年7月16日)
テーマ：メカニカルシールの基礎
講師：高橋 秀和 殿 イーグル工業株式会社 技術本部
シニアシールアドバイザー
- ウ. 風水力機械部会 講演会 (2021年9月13日)
テーマ：デジタルトランスフォーメーション (DX) のススメ
講師：森戸 裕一 殿 一般社団法人デジタルトランスフォーメーション
推進協会 副会長
- エ. 送風機技術者連盟 技術セミナー (2021年9月16日)
テーマ：AM技術の紹介
講師：高岡 隆裕 殿 株式会社NTTデータ ザムテクノロジーズCMO
ソリューション統括部長
テーマ：100%ハンズフリースマートグラス RealWearの紹介
講師：高橋 広安 殿 日本システムウエア株式会社
サービスソリューション事業本部 営業統括部
第一営業部 副部長
- オ. メカニカルシール講習会 (2021年11月26日)
テーマ：メカニカルシールの取扱いと運転保守
講師：高橋 秀和 殿 イーグル工業株式会社 技術本部
シニアシールアドバイザー
- カ. プロセス圧縮機講演会 (2022年2月24日)
テーマ：SPERA 水素[®]技術を用いた国際間水素サプライチェーン実証について
講師：岡田 佳巳 殿 千代田化工建設株式会社 代表取締役副社長
- キ. メカニカルシール講習会 (2022年3月11日)
テーマ：メカニカルシールの損傷例と対策
講師：高橋 秀和 殿 イーグル工業株式会社 技術本部
シニアシールアドバイザー

(6) 関係省庁及び関連団体への協力

- ア. 国土交通省の要請に応じ、「公共建築工事標準仕様書 平成 31 年版」の改訂に協力した。
- イ. 一般社団法人公共建築センターの要請に応じ、「機械設備工事監理指針 平成 31 年版」の改訂に協力した。
- ウ. 公益財団法人日本下水道協会に対し、「小規模下水道の設計基準及び解説」の改訂案を提案した。
- エ. 環境省の要請に応じ、騒音規制法及び振動規制法の見直し検討会にオブザーバとして参加するとともに、各種調査に協力した。

8. 運搬機械部会

(1) 役員改選

2021年7月12日の部会総会を開催し、次のとおり選任した。

- 部会長：茂垣 康弘 株式会社 I H I 常務執行役員
産業システム・汎用機械事業領域長（再任）
- 副会長：榎藤 卓也 株式会社ダイフク 執行役員
イントラロジスティクス事業部
エンジニアリング本部長（再任）
- 副会長：大熊 謙司 株式会社キトー 執行役員
国内営業本部長（新任）

(2) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(3) 標準化の推進

ア. JIS規格への対応

- a. JIS B 8942（立体自動倉庫システム—システム設計通則）、JIS B 8943（立体自動倉庫システム—スタッククレーン設計通則）の改正原案を作成した。
- b. JIS B 8825（仕分けコンベヤ）の改正案を検討した。
- c. シャトル台車式立体自動倉庫システムのJIS 制定に向け、規格案を検討した。
- d. JIS B 0148（巻上機—用語）、JIS B 2803（フック）、JIS B 8802（チェーンブロック）、JIS B 8803（ベルトコンベヤ用ローラ）、JIS B 8805（ゴムベルトコンベヤの計算式）、JIS B 8812（チェーンブロック用リンクチェーン）、JIS B 8814（ベルトコンベヤ用プーリ）、JIS B 8815（電気チェーンブロック）、JIS B 8816（巻上用チェーンスリング）、JIS B 8941（立体自動倉庫システム—用語）の改正について検討した。

イ. ISO・IEC 等国际規格への対応

- a. ISO/TC111（丸鋼製リンクチェーン、チェーンスリング、構成要素部品及び付属

品)及びTC111/SC3(構成要素部品及び付属品)の国際幹事国としてTC及びSCの運営等を行った。

b. ISO/TC111国内審議団体として、シャックルに関するISO 2415の国際回答原案の作成及び国際会議への対応を行った。

c. ISO/TC111国内審議団体として、吊り具の靱性評価方法に関する国際回答原案の作成及び国際会議への対応を行った。

ウ. JIMSへの対応

a. JIMS J-2003(軽量形クレーン)の改正について検討した。

(4) 機械安全の推進

ア. 「チェーン・ローラ・ベルトコンベヤ、仕分けコンベヤ、垂直コンベヤ及び、パレタイザ検査要領書」の改訂版を作成のため、内容の検討を行った。

イ. 「大規模倉庫における防火シャッター降下部のコンベヤに関するガイドライン」に沿って実施時の課題や解釈について検討した。

ウ. 「ラック式倉庫のスプリンクラー設備の解説書」について見直しを検討した。

エ. 「立体自動倉庫 工事安全基準」の見直しを検討した。

(5) 海外動向調査の実施

アジア地域等に調査団を派遣し需要動向等の調査を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(6) 展示会等の開催の推進

2021年10月13日～15日開催の「国際物流総合展 INNOVATION EXPO」(東京ビックサイト 青海展示棟)を共催した。

(7) 講演会の実施

2021年12月14日に破壊力学に関する次の講演会を行った。

テーマ1:破壊力学の誕生とその背景、破壊靱性の考え方・理論の概要

講師:萩原 行人 殿 上智大学理工学部機能創造理工学科
元教授 工学博士

テーマ2:必要な靱性値を求めるための評価手順の紹介

講師:小林 順一 殿 テクノコナン 代表 工学博士

(8) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省、関係省庁及び一般財団法人日本規格協会等関連団体との交流を行った。

9. 動力伝導装置部会

(1) 役員改選

2021年5月13日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：荒木 達朗 住友重機械工業株式会社 常務執行役員
パワートランスミッション・コントロール事業部
生産統括部長
住友重機械ギヤボックス株式会社
代表取締役社長（再任）
副部会長：市原 英孝 富士変速機株式会社
常務取締役 営業本部長（新任）

(2) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(3) 関連情報収集等調査の実施

新型コロナウイルス流行の影響、国内外の市場動向等について情報収集、調査等を行った。

なお、調査団の派遣は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(4) 国内外の規制等に関する調査の実施

ア. 中国のモーター効率規制について調査した。

イ. 動力伝導装置業界に関連するコネクテッドインダストリーズやデジタルトランスフォーメーションの技術動向、方向性等を調査した。

(5) 施設調査の実施

施設調査は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

(6) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省及び一般社団法人日本電機工業会、中国液圧気動密封件工業協会（CHPSA）等関連団体との交流を行った。

10. 製鉄機械部会

(1) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析把握した。

(2) 標準化の推進

JIMS D シリーズ（圧延設備）22 種の追補を発行した。

(3) 関連情報収集等調査の実施

新型コロナウイルス流行の影響、国内外の市場動向、省エネルギーに係る政府施策について情報収集等を行った。

(4) 講演会の実施

2021年6月9日に次の講演会を行った。

テーマ1：素形材産業の現状と政府の今後の取組

講師：今福 幸一 殿 経済産業省 製造産業局 素形材産業室 室長補佐

テーマ2：鉄鋼業における温暖化対策について

講師：田中 良佑 殿 経済産業省 製造産業局 金属課 金属技術室 係長

(5) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省及び一般社団法人日本工業炉協会会員企業との交流を行った。

11. 業務用洗濯機部会

(1) 統計調査の実施

機種別、容量別の出荷台数の統計調査を行い、産業動向の把握を行った。

(2) 調査研究の実施

ア. 取扱いの際の危険性を喚起するガイドライン作成に向けて危険区域内のハザードマップ及び警告ラベルの取付位置と種類について検討を行った。

イ. リネンサプライ工場のCO₂排出量の削減に向けて、処理能力別最適モデルの検討を行った。

ウ. 耐用年数の短縮について関係団体へ働きかけた。

(3) 関連分野の動向調査

国内の機械部品の供給状況について情報交換を行い、サプライチェーンの混乱による機械部品の供給に遅れの問題について顧客に理解を求める「機械部品の供給遅れに関するご協力のお願い」の書面を作成し、発行した。

(4) 施設調査の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送った。

(5) 海外調査の実施

ドイツ・フランクフルトで開催される「Texcare International 2021」へ調査団を派遣する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により「Texcare International 2021」が中止となった。

12. エンジニアリング部会

(1) 役員改選

2021年6月14日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：岡本 敦 JFE エンジニアリング株式会社 専務執行役員
技術本部長（新任）

(2) 講演会の実施

ア. 2021年11月5日に次の通り開催した。

テーマ：国内洋上風力現状と課題等

講師：齋藤 薫 殿 一般社団法人日本風力発電協会 理事

イ. 2022年2月21日に次の通り開催した。

テーマ：エンジニアリングソリューションを最大活用した水素社会の早期実現

講師：鍛冶 尚弘 殿 千代田化工建設株式会社 フロンティアビジネス本部
水素事業部 渉外・広報・業務セクション
セクションリーダー

(3) PCI/LF 委員会への協力

2005年度より PCI（プラントコストインデックス）/LF（ロケーションファクター）委員会（日本機械輸出組合主催）の調査研究に参加し、2021年度版の PCI（プラントコストインデックス）/LF（ロケーションファクター）報告書の作成に協力した。

Ⅲ 委員会関係

1. 政策委員会

2021年度は7回開催し、当工業会の事業運営事項について企画・立案・審議すると共に、法務問題や税制のあり方等について審議し、理事会等へ上程した。

なお、開催状況は次のとおり。

(1) 委員会

ア. 第524回(2021年4月14日)

- a. 2020年度事業報告(案)
- b. 2020年度決算報告(案)
- c. 決議(案)
- d. 2021年度産業機械工業功績者表彰候補者(案)
- e. 委員長の改選

委員長の改選期に伴い次のとおり選任した。

委員長：二瓶 清 殿 株式会社IHI 執行役員
グローバル・営業統括本部長

イ. 第525回(2021年6月17日)

- a. 講演会の開催検討

ウ. 第526回(2021年7月14日)

新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言が発出されたため中止とした。

エ. 第527回(2021年9月15日)

- a. 講演

テーマ：デジタル時代に向き合う～ニューノーマル時代のDXと政策展開～

講師：田辺 雄史 殿 経済産業省 中小企業庁 経営支援部
技術・経営革新課長
(前・経済産業省 商務情報政策局
情報技術利用促進課長)

- b. 令和4年度税制改正要望(案)

オ. 第528回(2021年10月13日)

- a. 講演

テーマ：エネルギー基本計画について

講師：西田 光宏 殿 経済産業省 資源エネルギー庁 長官官房 総務課
戦略企画室長

- b. 関西大会における提言(案)

カ. 第529回(2021年12月15日)

- a. 講演

テーマ：カーボンニュートラル時代における水素政策の今後の方向性

講師：奈良 篤人 殿 経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギーシステム課 専門職

- b. 「環境活動基本計画」フォローアップ調査実施報告
- c. 循環型社会形成自主行動計画（廃棄物削減対策）新目標（案）
- d. 「協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画」の改定及びフォローアップ調査結果

キ. 第530回（2022年2月16日）

a. 講演

テーマ：RCEPの活用に向けて

講師：田村 英康 殿 経済産業省 通商政策局 経済連携交渉官

b. 2022年度政策委員会事業計画（案）

ク. 第531回（2021年3月16日）

a. 講演

テーマ：スマートコンストラクションで実現する建設産業のデジタルトランス
フォーメーション

講師：四家千佳史 殿 株式会社小松製作所 執行役員

スマートコンストラクション推進本部長

b. 2022年度産業機械の受注見通し（案）

c. 2022年度事業計画（案）

d. 2022年度収支予算（案）

（2）税制小委員会

2022年度税制改正にあたり、会員からの要望・意見を集約、検討して、政策委員会に上程した。

2. 労務委員会

（1）委員会

新型コロナウイルス感染拡大の状況が続く中、雇用、賃金、関係法令等の労働情勢を確認し、労使協調を基盤とした労務対策の研究及び推進を図ることを目的に、次のとおり開催した。

ア. 2021年7月度委員会（2021年7月7日）

a. 2021年度賃金・夏季賞与交渉状況

b. 新型コロナウイルスに関する対応（ワクチン職域接種等）

c. アフターコロナにおける出勤率の考え方

d. オリンピック開催期間中における勤務体制・夏季休暇中の帰省に関する対応

イ. 2021年10月度委員会（2021年10月6日）

- a. 2021 年度年末賞与交渉状況
- b. 2022 年度新規採用状況
- c. 新型コロナウイルスに関する対応（緊急事態宣言解除後の各種制限撤廃等）
- d. 定年延長・勤務間インターバル制度及び 360 度評価に関する対応
- ウ. 2021 年 12 月度委員会（2021 年 12 月 8 日）
 - a. 2021 年度 年末賞与交渉状況
 - b. 新型コロナウイルスに関する対応（ワクチン接種有無の把握等）
 - c. 働き方改革への取組状況（年次有給休暇の時間単位付与等）
- エ. 2022 年 3 月度委員会（2022 年 3 月 23 日）
 - a. 2022 年度賃金・夏季賞与交渉状況
 - b. 安全運転管理者の選任方法及び道路交通法改正に関する対応
 - c. 新型コロナウイルスに関する対応（抗原検査キット在庫の運用ルール等）
 - d. 育児・介護休業法の改正に向けた対応状況
 - e. 新入社員への対応（入社式、入社後の研修、新卒採用活動）
- (2) 講演会
 - ア. 2021 年 10 月 21 日
 - テーマ：働き方改革の目指すところ ～リコーグループの取組～
 - 講師：瀬戸まゆ子 殿 株式会社リコー コーポレート上席執行役員
- (3) 労働・雇用状況等の調査
 - 労働、雇用に関する調査を行った。
 - ア. 2021 年度賃金交渉状況調査
 - イ. 2021 年度夏季賞与交渉状況調査
 - ウ. 2021 年度年末賞与交渉状況調査
 - エ. 一般社団法人日本経済団体連合会への調査協力
 - a. 2021 年度福利厚生費調査
 - b. 業種別賃金・労務厚生等調査

3. 貿易委員会

- (1) 産業機械貿易振興事業
 - ア. ジェトロ・ウィーン及びシカゴ・事務所に当工業会の担当窓口を設置し、産業機械に関する市場調査、各種情報収集、引合・斡旋及び広報活動等を実施した。
 - ウィーン担当：尾森 圭悟
 - シカゴ担当：小川ゆめ子
 - イ. 北米、欧州地域、中近東諸国、アフリカ諸国における産業機械関連の調査を実施した。調査内容は、毎月「海外情報」に取りまとめ、会員等関係者への配布及びウェブサイトでの情報提供を行った。
 - ウ. 産業機械の海外市場拡大のための市場環境及びわが国並びに関係諸外国の貿易政

策等の情報収集を行い、会員企業の海外活動を支援した。

(2) 産業機械の国際競争力強化に関する調査研究事業の推進

ア. 海外市場等に関する調査

人口増加の一途をたどるアフリカ大陸の主要国における経済、貿易動向、投資動向、産業、進出日系企業の動向等に関する調査を行った。

イ. 経済連携協定等に関する動向調査

地域的な包括的経済連携 (RCEP) 協定及び環太平洋パートナーシップ (TPP) 協定に関する動向について情報収集を行った。

ウ. 会員の海外展開に関する情報収集

産業機械業界における海外事業の支援を図るため、会員企業の海外展開に関する情報収集を行い、取りまとめを行った。

(3) 海外貿易会議への協力

経済産業省主催の海外貿易会議 (産業機械) の幹事団体として、引き続きアフリカ地域等における投資状況、新型コロナウイルスに関する影響等に関する情報収集を行った。

(4) 講演会の開催

2021年4月22日

テーマ：バイデン新政権の経済政策と対中政策

講師：小川ゆめ子 殿 独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO)
シカゴ事務所
(日本産業機械工業会 シカゴ駐在員)

2022年10月18日

テーマ：最近の中国動向における日系企業への影響について

講師：藤原 智生 殿 独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO)
北京事務所 経済終息部長
國峯 彰太 殿 独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO)
北京事務所 電子情報産業部長
一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)
北京事務所長
軽機械センター (JLMC) 北京事務所長

(5) 関係行政機関及び関連団体への協力、連携

ア. 各種調査情報を経済産業省、独立行政法人日本貿易振興機構等関連機関へ提供すると共に、産業機械産業の健全な貿易発展のための連携を図った。

イ. 海外からの引合・斡旋等を行い、円滑な貿易の遂行に協力した。

4. 編集広報委員会

延べ2回の委員会を開催し、次の事項について審議を行った。

(1) 2021年度第1回(2021年7月20日)

- ア. 月刊機関誌「産業機械」2021年1～6月号の経過報告
- イ. 月刊機関誌「産業機械」2021年7～12月号会員トピックス・コラムアンケート結果
- ウ. 月刊機関誌「産業機械」2021年12月号 その他特集
- エ. 月刊機関誌「産業機械」2022年の編集方針

(2) 2021年度第2回(2021年12月10日)

- ア. 月刊機関誌「産業機械」2021年7～12月号会員トピックス・コラム掲載報告
- イ. 月刊機関誌「産業機械」2021年12月号その他特集「DXの取り組み」の報告
- ウ. 月刊機関誌「産業機械」2021年12月号特別企画「ボイラ・原動機部会女性交流会 座談会」の報告
- エ. 月刊機関誌「産業機械」2022年1～6月号会員トピックス・コラムアンケート結果

5. 産業機械工業規格等調査委員会

(1) 委員会の開催

ア. 2021年8月24日

機種別部会のISO、JIS、JIMS関連の活動状況及び関連法規、規格等への対応状況について報告及び確認を行った。なお、改正及び廃止を承認した規格は下記の通り。

- a. JIMS C 2004 (遠心送風機製品検査基準) 改正
- b. JIMS C 1001 (小型ポンプ用鋳鉄10kg/cm²フランジ形スイング逆止め弁) 廃止
- c. JIMS C 1002 (小型ポンプ用鋳鉄10kg/cm²フランジ形内ねじ式仕切弁) 廃止
- d. JIMS C 1003 (石油精製用プロセスポンプ検査) 廃止
- e. JIMS C 1004 [片吸込遠心ポンプ(10, 16及び25bar級) -呼び方、呼び要目及び寸法] 廃止

イ. 2022年3月3日

機種別部会のISO、JIS、JIMS関連の活動状況及び関連法規、規格等への対応状況について報告及び確認を行った。なお、改正及び追補を承認した規格は下記の通り。

- a. JIMS C 2004 (遠心送風機製品検査基準) 改正
- b. JIMS D シリーズ (圧延設備) 22種 追補

また、溶融亜鉛めっきに関するJIS規格(JIS H 8641及びJIS H 0401)の改正について情報を提供した。

6. 産業機械工業功績者表彰選考委員会

2021年4月2日に委員会を開催し、会員企業の役員または職員のうち産業機械工業の発展に特に貢献された功績者10名を表彰候補者として選出し、理事会（書面）（2021年4月27日）へ上程した。

7. 環境委員会

(1) 役員改選

2021年6月16日に開催した委員会において役員改選を行い、次の通り選任した。

委員長：高橋 宏明 三菱重工業株式会社 執行役員
バリューチェーン本部長（新任）
副委員長：森山 秋乃 三菱重工業株式会社 バリューチェーン本部
バリューチェーン革新部 環境企画グループ
グループ長（再任）
副委員長：高橋 毅 株式会社IHI 経営企画部 主幹（再任）

急きょ役員辞任の申し出があり、2022年3月24日に開催した委員会において役員改選を行い、2022年4月1日付けで次の通り選任した。

委員長：高口 宙之 三菱重工業株式会社 執行役員
バリューチェーン本部長（新任）
副委員長：森山 秋乃 三菱重工業株式会社 バリューチェーン本部
バリューチェーン革新部 環境企画グループ
グループ長（再任）
副委員長：峰政 信義 株式会社IHI 総務部 環境グループ
グループ長（新任）

(2) 委員会

ア. 第85回委員会（2021年6月16日）

2021年度定例調査（VOC大気排出実績調査、環境活動基本計画フォローアップ調査、廃棄物削減対策の2025年度目標アンケート）の実施及び「環境活動報告書2021」の内容等について審議を行った。

また、環境委員会運営規程を設置した。

イ. 第86回委員会（2021年11月4日）

「低炭素社会実行計画」定例調査の結果について報告すると共に、「環境活動報告書2021」の掲載内容等について審議した。

また、2030年度目標のあり方や2050カーボンニュートラル実現に向けた考え方について意見交換を行った。

ウ. 第87回委員会（2021年12月10日）

「VOC大気排出実績調査」「循環型社会形成自主行動計画」定例調査の結果について報告すると共に、「循環型社会形成自主行動計画」2025年度新目標（案）について審議した。

エ. 第88回委員会（2022年3月24日）

2021年度事業報告（案）、2022年度事業計画（案）について審議した。

（3）ワーキンググループの活動

ア. VOC自主管理ワーキンググループ

「VOC排出実態調査」を実施し、調査結果の集計・評価を行い、当工業会のVOC自主管理のあり方について検討した。

イ. 環境活動基本計画フォローアップワーキンググループ

「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査について、集計・評価等を行った。また、「産業機械工業の循環型社会形成自主行動計画」2025年度目標について検討を行った。

ウ. 環境活動報告書作成ワーキンググループ

「2021年度環境活動報告書」の構成の検討、取材、報告書案の作成等を行った。

なお、報告書の構成を一部変更し、コロナ禍により現地取材が困難であるため、前年度より掲載を休止している「会員企業の環境保全活動」に変わり、新たな企画として「産業機械とSDGs～環境分野の取り組み～」をスタートした。

（4）内外動向の調査研究

産業機械工業における環境保全対策の動向を把握する目的から、「産業機械工業の環境活動基本計画」2021年度定例調査及び、「VOC大気排出実績調査」2021年度調査を実施すると共に、各集計結果を会員、関係省庁及び関連団体に報告した。

（5）講演会の実施

2021年8月30日に全会員を対象とした講演会をオンライン・会場参加の併用（ハイブリッド）で次の通り開催した。

テーマ：電機電子業界の温暖化対策

講師：齋藤 潔 殿 一般社団法人日本電機工業会 環境ビジネス部 次長

（6）関係行政機関及び関連団体への協力

ア. 経済産業省

産業構造審議会産業技術環境分科会地球環境小委員会電子・電機・産業機械等ワーキンググループ（2021年12月22日）において、「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査結果に基づき報告した。

イ. 一般社団法人日本経済団体連合会

低炭素社会実行計画・循環型社会形成自主行動計画の2021年度フォローアップ調査について、「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査結果に基づき回答した。

(7) 報告書等のとりまとめと情報提供

委員会活動において、「2021年環境活動報告書」を始めとする各種報告書を取りまとめ関係機関へ提出する等、情報提供に努めた。

8. エコスラグ利用普及委員会

廃棄物溶融施設で生産される溶融固化物（エコスラグ）の利用促進に必要な事業を企画立案すると共に、エコスラグの標準化及び利用普及の推進活動を行った。

また、関係行政機関に協力し、専門家の派遣等利用普及事業の推進を支援した。

(1) 標準化の推進

ア. 厚生労働省で、労働安全衛生法施行令、特定化学物質障害予防規則等を改正し、「マンガン及びその化合物（塩基性酸化マンガンを含む）」を特化則の特定化学物質（管理第2類物質）に位置付け、令和3年4月1日から施行・適用しており、鉄鋼スラグ協会と意見交換、状況共有し、連携を図り、これまで議論した結果を会員企業に情報発信する。

(2) 利用普及の推進

ア. 「エコスラグ有効利用の現状とデータ集（2020年度版）」を2021年5月に発行した。

イ. エコスラグに関する調査

コロナ感染対策防止の為、施設調査は行っていない。

ウ. グリーン購入法の特定調達品目に関する提案募集（公共工事）に、2021年度も当委員会から提案した。

エ. 2022年2月、リサイクルポート推進協議会主催「循環資源説明会」に講師を派遣した。

オ. 自治体に対するスラグ利用普及支援

a. 自治体連絡会の開催

2021年10月6日宮城大学サテライトキャンパスの会議室（Web併用）で開催し、産官学の情報交換・情報共有を行った。

b. 自治体連絡会施設見学会の開催

新型コロナウイルス感染対策防止の為、中止とした。

c. 「自治体通信」の発行

年1回の「自治体通信」を2021年3月に発行し、有効利用の情報共有を行った。

カ. 外部への情報発信

a. エコスラグ関連記事投稿

産業機械 No. 848（2021.6）

IV 関西支部関係

本部と緊密な連携を図り、機種別部会及び政策委員会、労務委員会を随時開催して、関係省庁はもとより関連団体と連携しつつ、次の事業を実施した。

1. ボイラ・原動機部会

(1) 講演会の開催

2021年9月10日に次のとおり開催した。

テーマ：最近の近畿経済の動向について

講師：山根 理 殿 経済産業省 近畿経済産業局 総務企画部
企画調査課長

(2) 東西合同会議

2021年10月7日に宮崎県宮崎市で開催し、2021年度事業計画及びスケジュールについて報告及び検討を行った。

2. 化学機械部会

(1) 役員改選（書面審議）

正木副部会長の退任に伴う改選を行い、2021年9月24日に次のとおり選任した。

副部会長：大田 龍一郎 大同機械製造株式会社 代表取締役社長（新任）

3. 環境装置部会

(1) 役員改選

山本副部会長、平野副部会長の退任に伴う改選を行い、2021年7月15日に次のとおり選任した。

副部会長：近藤 守 日立造船株式会社 理事 設計統括部長（新任）

副部会長：中村 克平 株式会社ササクラ 執行役員 水処理事業部長（新任）

(2) 講演会の開催

2021年7月15日に次のとおり開催した。

ア. テーマ：化石燃料の大量消費と環境問題を解決するためのエネルギーキャリア戦略
—水素社会の実現を目指して！—
(政策委員会と共催)

講師：赤松 史光 殿 大阪大学大学院工学研究科 教授

イ. テーマ：二点DO制御を用いた省エネ型OD装置

講師：中町 和雄 殿 前澤工業株式会社 官需推進部 次長

4. 風水力機械部会

(1) 役員改選（書面審議）

岩波副部会長の退任に伴う改選を行い、2021年9月10日に次のとおり選任した。

副部会長：岩波 嘉信 日本ピラー工業株式会社 代表取締役社長（新任）

5. 運搬機械部会巻上機委員会繊維スリング分科会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2021年5月24日に、次のとおり選任した。

分科会長：河野 俊雄 株式会社キトー 執行役員（再任）

副分科会長：津田 和則 象印チェンブロック株式会社 専務取締役（再任）

(2) 講演会の開催

2021年5月24日に次のとおり開催した。

テーマ：ポストコロナに向けて

講師：八田 明洋 殿 経済産業省近畿経済産業局 産業部 製造産業課 課長

6. 政策委員会

関西支部運営の中核として年 8 回開催し、運営幹事会で報告されている毎月の産業機械の統計関係、当工業会の活動状況、海外駐在員の近況報告や講演内容の報告の他、意見交換等を行った。

また、下記のとおり講演会を開催した。

(1) 2021年7月15日（環境装置部会との共催）

テーマ：化石燃料の大量消費と環境問題を解決するためのエネルギーキャリア戦略
—水素社会の実現を目指して！—

講師：赤松 史光 殿 大阪大学大学院工学研究科 教授

(2) 2021年12月23日

テーマ：2021年度関西地域設備投資計画調査について

講師：樫村 直樹 殿 株式会社日本政策投資銀行 企画調査課長

7. 労務委員会

労務問題は、人事評価制度、定年制、退職金、福利厚生等多岐に亘っており、これら労務対策の研究及び推進を図るため次の会議等を実施すると共に、意見交換を行った。

(1) 役員改選

後藤副部会長の退任に伴う改選を行い、2022年3月4日に次のとおり選任した。

副委員長：岩井 兼治 株式会社ダイフク 総務部 部長（新任）

(2) 委員会

ア. 第1回委員会

2021年6月24日にWeb会議にて開催し、次の事項について報告及び意見交換を行った。

a. コロナ禍における各社の近況

b. 幹部人材の育成と登用

c. シニア層の活性化・活用

イ. 第2回委員会

2021年12月1日に委員会を開催すると共に阪神・淡路大震災記念「人と防災未来

センター」(兵庫県神戸市)を訪問し、阪神・淡路大震災・東日本大震災についてのシアター鑑賞・見学の後、語り部による震災体験談の講話を聞く等、地震と災害に対する防災と減災について、見学・研修を行った。

ウ. 第3回委員会

2022年3月4日にWeb会議にて開催し、次の事項について報告及び意見交換を行った。

- a. 転勤・単身赴任の見直し、副業・兼業の導入
- b. 社員のモチベーションやエンゲージメント向上への取組

8. 新年賀詞交歓会等会員相互等の交流機会の提供

(1) 新年賀詞交歓会

リーガロイヤルホテルにおいて2022年1月11日に開催した。

9. 各種調査への協力

一般社団法人日本機械工業連合会大阪事務所が実施した関西団体協議会に出席し、活動方針の意見交換や施設調査等を行った。

V 共通基盤事業関係

1. 決議及び提言の取りまとめ

次の政策提言を関係省庁等に対して提出した。

- (1) 決議（定時総会2021年5月）
- (2) ポスト・コロナを見据えた経済再生に向けて（関西大会政策提言）〔関西大会（第603回理事会、第87回運営幹事会及び関西地区会員との合同会議）2021年11月〕

2. 統計調査の実施と統計情報の提供

次の項目について、月次調査及び集計を実施した。集計結果は、理事会での報告と会員への提供を行うと共に、関係省庁、関連団体、報道機関等に配布した。また、暦年・年度及び需要部門毎の資料整備と分析を行い、当工業会の基礎的統計資料の整備に努めた。

- (1) 産業機械受注状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・需要部門別集計）
- (2) 産業機械輸出契約状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・地域別集計）
- (3) 環境装置受注状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・需要部門別集計）
- (4) 産業機械輸出入実績
（財務省貿易統計ベース、月次毎、機種別・需要部門別集計）
- (5) 2022年度産業機械の受注見通し（2022年3月23日公表）

3. 適正取引の推進に向けた行動計画に関する取組

- (1) 自主行動計画のフォローアップ指針における調査の実施
中小企業庁が定める業種横断的な「フォローアップ指針」を踏まえ、『「未来志向型の取引慣行に向けて」に係る自主行動計画のフォローアップ指針における調査』として2021年10月に実施した。調査結果は2021年11月に中小企業庁へ報告すると共に、会員各社と情報共有を図った。
- (2) 「協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画」の改正

経済産業省からの要請を受け、当工業会の行動計画を2021年11月18日に改正した。

(3) 適正取引自主行動計画推進委員会の開催

ア. 2021年10月13日に委員会を開催し、「産業機械・航空機等における下請適正取引等の推進のためのガイドライン（経済産業省）」の改正を踏まえた当工業会の行動計画の改正案に関する会員企業への調査の実施、自主行動計画フォローアップ調査の実施について検討を行った。

イ. 2021年12月15日に委員会を開催し、当工業会の行動計画の改正内容、自主行動計画フォローアップ調査結果等について報告を行った。

4. 優秀環境装置表彰等表彰事業の実施

環境装置メーカー等が開発した優秀な装置の普及と技術開発の促進を目的に、1974年度から通商産業省（現経済産業省）の後援のもと、優秀環境装置の表彰事業を実施している。賞の種類は、経済産業大臣賞、経済産業省産業技術環境局長賞、中小企業庁長官賞、一般社団法人日本産業機械工業会会長賞であり、その他受賞装置の開発に携わった主たる開発者に対し、当工業会会長より表彰を行っている。

2021年度（第48回）は、全国から15件の応募があり、これら装置について独創性、性能、経済性、将来性等の項目に関し書面審査、実地調査等の厳正なる審査を行い、表彰する。

なお、2020年度事業（第47回）において優秀と評価された環境装置について、2021年7月14日に表彰式を行った。

また、経済産業大臣賞、経済産業省産業技術環境局長賞、中小企業庁長官賞を受賞した装置の研究・開発に携った主たる開発者について、計12名を一般社団法人日本産業機械工業会会長が表彰した。

表彰対象装置及び受賞者は次のとおり。

(1) 経済産業大臣賞

装置名：二点DO制御を用いた省エネ型OD装置

受賞者：前澤工業株式会社（共同申請）

国立大学法人高知大学（共同申請）

日本下水道事業団（共同申請）

(2) 経済産業省産業技術環境局長賞

装置名：消石灰を利用した酸性ガス高度除去集じん灰再循環システム

受賞者：日立造船株式会社

(3) 中小企業庁長官賞

装置名：排ガス処理装置（デオライザー）

受賞者：株式会社アイエンス

(4) 日本産業機械工業会会長賞（応募申請書受付順）

装置名：マグネットセパレータ（ファインマグ）

受賞者：住友重機械ファインテック株式会社

装置名：UASBによる排水処理装置（とくとく-ぶぶぶ）

受賞者：株式会社エイブル

5. 中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に関する税制措置への対応

中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に関する税制措置について、設備メーカ（製造事業者等）からの申請に基づき、生産性向上に係る該当要件を確認し、「証明書」を発行した。

6. 月刊機関誌「産業機械」の発行と関連情報の提供

2021年は「DXで社会を支える産業機械」を、2022年は「脱炭素社会の実現に向けて挑戦する産業機械」を年間テーマに掲げ、会員各社の新製品・新技術の紹介を中心に、各種統計資料、当工業会の情報を編集し、発行した。

なお、特集号及び紹介号は次のとおりである。

- 2021年 4月号 (No. 846) プラスチック機械
- 2021年 5月号 (No. 847) 環境装置①
- 2021年 6月号 (No. 848) 環境装置②-エコスラグー
- 2021年 7月号 (No. 849) 環境負荷低減効果に関する調査研究の概要
- 2021年 8月号 (No. 850) 風水力機械
- 2021年 9月号 (No. 851) ボイラ
- 2021年 10月号 (No. 852) 優秀環境装置
- 2021年 11月号 (No. 853) 化学機械・タンク
- 2021年 12月号 (No. 854) 業務用洗濯機
ボイラ・原動機部会 女性交流会座談会
「ワークライフバランスを考える」
- 2022年 1月号 (No. 855) 経済産業省 製造産業局長、会長、支部長、委員長、
部会長年頭所感
- 2022年 2月号 (No. 856) 鋳山機械・製鉄機械
- 2022年 3月号 (No. 847) 運搬機械・動力伝導装置

(2) ウェブサイトの運営及び掲載内容の検討

会員の紹介、当工業会活動内容及び各種事業の開示を目的に、ウェブサイト (<http://www.jsim.or.jp/>) の管理・運営を行った。

VI 共通基盤活動関係

1. 総会、理事会、正副会長会議等会議の運営

(1) 定時総会

2021年5月20日、The Okura TOKYOにおいて開催し、次の議案をいずれも満場一致をもって原案のとおり承認した。

- ア. 2020年度事業報告承認の件
- イ. 2020年度決算報告承認の件
- ウ. 2021年度事業計画決定の件
- エ. 2021年度収支予算決定の件
- オ. 決議の件
- カ. 役員補充選任の件

(2) 理事会

2021年度に次の通り6回開催し、各議案について審議を行った。

- ア. 理事会（書面審議）（2021年4月27日）
 - a. 2020年度事業報告（案）及び2020年度決算報告（案）
 - b. 2021年度収支予算修正
 - c. 幹事補充選任
 - d. 2021年度産業機械工業功績者表彰推薦者（案）
 - e. 2021年度定時総会の招集
- イ. 第602回臨時理事会（2021年5月20日）
 - a. 専務理事及び常務理事補充選任
 - b. 2020年度下期工業会活動状況
- ウ. 理事会（書面審議）（2021年6月30日）
 - a. 常任幹事・幹事補充選任
 - b. 新入会員
- エ. 理事会（書面審議）（2021年7月28日）
 - a. 常任幹事補充選任
- オ. 理事会（書面審議）（2021年9月30日）
 - a. 常任幹事・幹事補充選任
 - b. 令和4年度税制改正に関する産業機械業界の要望（案）
- カ. 第603回理事会（2021年11月18日）
 - a. 常任幹事補充選任
 - b. 新入会員
 - c. 政策提言ーポスト・コロナを見据えた経済再生に向けて（案）
 - d. 2021年度上期工業会活動状況

- キ. 理事会（書面審議）（2022年3月29日）
 - a. 2022年度事業計画（案）及び2022年度収支予算（案）
 - b. 関連規程等の整備（案）

(3) 運営幹事会

2021年度に次のとおり8回開催し、毎月の産業機械受注状況、輸出契約状況、環境装置受注状況、海外情報、当工業会の活動状況等について報告を行った。

ア. 第82回運営幹事会（2021年4月22日）

- a. 講演
テーマ：カーボンニュートラルに向けた我が国のエネルギー・資源政策とJOGMECの役割
講師：細野 哲弘 殿 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構
理事長
(元 経済産業省 製造産業局長、資源エネルギー庁 長官)

- b. 幹事補充選任
- c. 委員長・部会長の選出
- d. 2020年度事業報告（案）及び2020年度決算報告（案）
- e. 決議（案）
- f. 2021年度産業機械工業功績者表彰候補者（案）

イ. 第83回運営幹事会（2021年6月23日）

- a. 講演
テーマ：カーボンニュートラルを巡る動向
講師：内野 泰明 殿 経済産業省 産業技術環境局 環境経済室 企画官
- b. 常任幹事補充選任
- c. 委員長・部会長の選出
- d. 新入会員

ウ. 第84回運営幹事会（2021年7月16日）

新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言が発出されたため中止とした。

エ. 第85回運営幹事会（2021年9月22日）

- a. 講演
テーマ：最近の主な経済産業政策
講師：安田 篤 殿 経済産業省 製造産業局 産業機械課長
- b. 常任幹事・幹事補充選任
- c. 令和4年度税制改正要望（案）

オ. 第86回運営幹事会（2021年10月21日）

- a. 講演
テーマ：トランスフォーメーションに向けて
講師：高橋 泰三 殿 富士通株式会社 執行役員専務
(元 経済産業省 製造産業局 産業機械課長)

カ. 関西大会（第 603 回理事会、第 87 回運営幹事会及び関西地区会員との合同会議）
（2021 年 11 月 18 日）

- a. 常任幹事補充選任
- b. 新入会員
- c. 政策提言ーポスト・コロナを見据えた経済再生に向けて（案）
- d. 協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画（改定案）
- e. 2021 年度上期工業会活動状況
- f. 講演

テーマ：関西経済の未来に向けて

講師：伊吹 英明 殿 経済産業省 近畿経済産業局長

キ. 第 88 回運営幹事会（2021 年 12 月 21 日）

- a. 講演
テーマ：COP26 の成果と今後の動向
講師：木原 晋一 殿 経済産業省 大臣官房審議官（環境問題担当）
- b. 「環境活動基本計画」フォローアップ調査実施報告
- c. 循環型社会形成自主行動計画（廃棄物削減対策）新目標（案）

ク. 第 89 回運営幹事会（2022 年 2 月 22 日）

- a. 講演
テーマ：化石燃料市場の現状及び今後の注目点等
講師：野神 隆之 殿 独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構
首席エコノミスト

ケ. 第 90 回運営幹事会（2022 年 3 月 22 日）

- a. 講演
テーマ：経済安全保障を巡る最近の動向
講師：飯田 陽一 殿 経済産業省 貿易経済協力局長
- b. 2022 年度産業機械の受注見通し（案）
- c. 2022 年度事業計画（案）
- d. 2022 年度収支予算（案）

（4）会長、副会長会議

当工業会の運営及び事業活動の円滑化を図るための基本的事項について協議を行うため、2022 年 3 月 9 日に開催し、産業機械業界の景気動向、2022 年度事業計画案、同収支予算案、その他当面の諸問題について協議、懇談を行った。

（5）会長、委員長、部会長会議

2021 年 12 月 21 日に開催し、各委員長、部会長から委員会、部会活動状況等の報告と共に、当面の課題について懇談を行った。

（6）監事監査

2020年度の事業報告及び決算報告について、2021年4月20日に井上監事（株式会社井上製作所）、平田監事（一般財団法人日本品質保証機構）によって監査が行われた。

2. 新年賀詞交歓会等会員相互等の交流機会の提供

(1) 定時総会パーティ

The Okura TOKYOにおいて、2021年5月20日開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言が発出されたため中止とした。

(2) 新年賀詞交歓会

The Okura TOKYOにおいて2022年1月6日に開催した。来賓を代表され、経済産業省製造産業局長 藤木俊光殿から挨拶があり、参加者一同新年の賀詞を交歓した。

3. 2021年度産業機械工業功績者の表彰

2021年5月20日の定時総会において、次のとおり表彰した（表彰順）。

(氏名)	(会社名)	(推薦部会・委員会)
塚原 正徳 殿	日立造船株式会社	貿易委員会
坂本 譲二 殿	株式会社IHI	環境委員会
三野 禎男 殿	日立造船株式会社	環境装置部会
新保 順一 殿	三機工業株式会社	環境装置部会
苅谷 俊彦 殿	宇部興産機械株式会社	プラスチック機械部会
野村 育生 殿	株式会社電業社機械製作所	風水力機械部会
田村 功一 殿	新明和工業株式会社	風水力機械部会
田中 利治 殿	住友重機械工業株式会社	動力伝導装置部会
栗田 佳直 殿	株式会社栗田機械製作所	関西支部 政策委員会・化学機械部会
佐藤 淳 殿	株式会社クボタ	関西支部 環境装置部会

4. 団体生産物賠償責任保険（PL保険）の提供

2021年度国内・海外生産物賠償責任保険（PL保険）の募集を実施し、円滑な運営に努めると共に、2022年度の募集に向け、保険制度の確認等を行った。

5. 全国産業機械野球大会及び産業機械テニス大会等の福利厚生事業

(1) 第68回全国産業機械野球大会

会員各社従業員の厚生事業の一環として、1954（昭和29）年から毎年開催しており、全日本実業団野球連盟、日刊工業新聞社、産業経済新聞社、スポーツニッポン新聞社の後援のもと、2021年6月12日に東京薬業健康保険組合総合運動場（埼玉県和光市）において開催した。なお、参加は4チームであった。

優勝	株式会社IHI	(紅龍旗争奪)
準優勝	日揮ホールディングス株式会社	(蒼龍旗争奪)
第3位	千代田化工建設株式会社	(白龍旗争奪)

また、当大会の優勝チームを全日本実業団野球連盟主催の東京ドームで開催される第72回実業団野球全国大会（紅龍旗争奪）、準優勝チームを第75回実業団野球業種別東京大会（蒼龍旗争奪）及び第3位チームを第70回実業団野球東京大会（白龍旗争奪）へそれぞれ産業機械業界代表として推薦した。

(2) 第62回産業機械テニス大会

会員各社従業員の厚生事業の一環として、1960（昭和35）年から毎年開催していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

(3) 2021年度会長杯ゴルフ大会

会員の親睦をより一層深めることを目的として毎年2回会長杯ゴルフ大会を開催している。2021年度の優勝者は次のとおりであった。

ア. 第1回 2021年5月21日 小金井国際カントリー倶楽部

優勝 川崎 博也 殿 株式会社神戸製鋼所

イ. 第2回 2021年11月19日 茨木カンツリー倶楽部

優勝 河合 宗一 殿 川崎重工業株式会社

6. セミナーの開催

次のとおり特別講演会を開催した。

(1) 2022年2月22日

テーマ：2022年の中国の政治と経済の行方

講師：肖 敏捷 殿 AIS CAPITAL株式会社 代表パートナー
首席エコノミスト

(2) 2022年3月22日

テーマ：日本のエネルギー政策について

講師：小澤 典明 殿 経済産業省 資源エネルギー庁
首席エネルギー・地域政策統括調整官

一般社団法人 日本産業機械工業会

本 部 東京都港区芝公園3丁目5番8号
〒105-0011 (機械振興会館4階)

電 話 東京 (03) 3434-6821 番 (代)

F A X 東京 (03) 3434-4767 番

関西支部 大阪府大阪市北区西天満2丁目6番8号
〒530-0047 (堂ビル2階)

電 話 大阪 (06) 6363-2080 番 (代)

F A X 大阪 (06) 6363-3086 番
